

※会場は本校ホールではありません。各日会場・時間が異なります。ご注意ください。

7月15日(土)
錦学習館
13:10~17:00

7月16日(日)
至誠学園ホール
9:10~19:30

7月17日(月・祝)
至誠学園ホール
9:10~18:30



高等学校公開卒業論文発表会

2017年度

東京賢治シュタイナー学校



7月15日(土)



立川市錦地域センター
錦学習館 講堂
〒190-0022
東京都立川市錦町3-12-25

JR立川駅より 徒歩11分
柴崎体育館駅より 徒歩10分
南武線西国立駅より 徒歩15分

7月16日(日)、17日(祝・月)



至誠学園 ホール
〒190-0022
東京都立川市錦町6-26-15

JR立川駅より 徒歩21分
柴崎体育館駅より 徒歩14分
南武線西国立駅より 徒歩15分



◆卒業論文に関するお問い合わせは、NPO法人 東京賢治の学校まで

NPO法人 東京賢治の学校
東京賢治シュタイナー学校

〒190-0023
東京都立川市柴崎町6-20-37

TEL : 042-523-7112
FAX : 042-523-7113

E-mail : info@tokyokenji-steiner.jp
http://www.tokyokenji-steiner.jp

両会場とも駐車場はありません。
公共の交通機関を使ってください。

7月15日（土）

立川市錦地域センター
錦学習館

13:10～17:00

- ①「職人」 土肥 沙織
たくさんの職人さんをたずねました。工業化する社会の中で手で仕事をする意味とは何なのか。考えていきたいと思います。
- ②「才能」 川崎 蒼太
天才とは、いったいどのような人のことを言うのでしょうか？生まれつきなのか、あとから努力してなれるのか、考えてみたいと思います。
- ③「人間(循環)論」 大倉 奏太
幼い子供から自分たち学生、働く大人から老いた人まで、全ての人間に普遍的なものはあるのだろうか。17歳としての考察をつくっていきます。

7月16日（日）

至誠学園ホール

9:10～19:30

- ①「日本の中での難民移民問題」 帖佐 奈々
私は、卒業論文で「日本の中での難民移民問題」に取り組みました。日本が難民移民受け入れに対して消極的な理由を日本の社会構造とつなげて考えていきます。
- ②「アボリジナル」 千原 美湖
オーストラリアの先住民アボリジナルの文化から始まり、彼らの精神性に焦点を当てます。また、差別の歴史を考えながら、伝統文化と文明社会のあり方を探っていききたいと思います。
- ③「変形菌 細胞の知性」 稲葉 飛多紀
神経を持たない生物に知性はあるのか？追求していききたいと思います。

— 昼食 — 12:30～13:30

- ④「ピタゴラ装置」 笠井 ゆうか
素人がピタゴラ装置に挑戦したらどうなるか試してみました。
- ⑤「演技の上手い下手」 池田 衣穂
「あの役者は演技が上手い」などと聞きますが、演技の上手い下手とはなんなのか。自分なりに考えていききたいと思います。
- ⑥「格差社会」 柳原 瑛人
私は、格差社会について取り組んでいます。貧困とは何か？貧困の連鎖から抜け出せるのか？…等々、このようなことを社会現象等をふまえながら考えていききたいと思います。

— 休憩 — 16:45～17:05

- ⑦「暴力 ～もののけ姫から見た暴力と現実からみた暴力～」 中上 巴
私は「暴力」について取り組みました。ジブリ作品「もののけ姫」の中に表現されている暴力やそれ以外でも人間と暴力の関係について自分なりに深めていけたらいいなと思います。
- ⑧「青年期と感動」 饗庭 理世子
現代の青年期の心理を、社会問題や流行している作品を見ていきながら、自らの視点で考察したいと思っています。

7月17日（月・祝）

至誠学園ホール

9:10～18:30

- ①「寄生生物と共生する」 堀田 凜
なぜ寄生されるのか？そのことによる良い点はあるのだろうか？そのような問いから論文は始まり、さらには免疫学全般にまで研究を続けていきたいと思っています。
- ②「南総里見八犬伝」 亀山 泰
子供向けのダイジェストから八犬伝の魅力を探っていききたいと思います。
- ③「前世」 比嘉 アリサ
前世というものがあるのか？ないとしたら、なぜそういう考えが生まれたのか？本の学びと実際の体験者の話から、考えていきたい。
- ④「冒険家」 山本 洋平
なぜ命を懸けてまで、冒険するのか？彼らの意図や意欲に焦点を当て、その生き方の意味を自分なりに追求していききたいと思います。実践では、もちろん冒険します。
- ⑤「神隠し」 竹内 萌夏
日本では昔、理由がわからず人がいなくなることを神隠しとよんでいました。なぜ、このような考え方が生まれるのか、又、なぜ私がこのテーマにひかれたのか。考察していききたいと思います。
- ⑥「研ぐ一切れ味から見る包丁」 山下 良太郎
研ぐ事と切れ味から包丁を研究しました。
- ⑦「The Relationship Between SHERLOCK HOLMES Series And SCOTLAND」 田幡 庸
あり得ない事象を全て排除した結果から信じられなくても、其れが真実だ。

— 昼食 — 12:30～13:30

— 休憩 — 15:35～15:55